

氷見市議会企画総務委員会会議録

令和6年6月26日（水）

氷見市庁舎議事堂委員会室

開会 午前 9時58分

閉会 午前11時48分

- 1 案 件 令和6年6月定例会において企画総務委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 6名
萬谷委員長、北副委員長、穴倉委員、上坊寺委員、積良委員、萩山委員
- 3 委員外議員 正保副議長
- 4 職務のため出席した議会局職員 布尾局長、横田次長
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、篠田副市長、大木政策統括監、出戸企画政策部長、東軒総務部長、高林秘書広報課長、杉本地方創生推進課長、九澤地域振興課長、萩原総務課長、藏田財務課長、中川税務課長
ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 3人
- 7 経過及び結果
 - ・萬谷委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、議案第36号については賛成多数により、その他の案件については全会一致をもって原案を可決または承認することに決した（主な質疑応答は別紙のとおり）。
 - ・委員長報告は、「復旧・まちづくり推進事業費について」を特筆することとし、作成は委員長に一任された。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和6年6月26日

氷見市議会企画総務委員長



主な質疑応答

秘書広報課 萩山委員	デジタル化推進事業費について。調達業者が株式会社インテックに決まった経緯は。
高林課長	5月中旬にプロポーザル方式により、県と15市町村で構成する富山県情報システム共同利用推進協議会で協議し、唯一応募のあった株式会社インテックに決定した。
萩山委員	クラウドシステムの脆弱性は大丈夫なのか。
高林課長	情報の管理を徹底し移行作業を進めていく。
萩山委員	マイナンバーとの関連性は。
高林課長	直接の結びつきはないが、システムの標準化後はマイナンバーカードを使用した行政手続きのオンライン化が可能になる。
穴倉委員	標準化によるデメリットはないのか。
高林課長	データ管理は東京と大阪にある国内のサーバーで行うため情報の漏洩はないものと考えている。市町村ごとのカスタマイズも可能である。
穴倉委員	カスタマイズに係る費用は自治体が負担するのか。
高林課長	今後、協議していく。
萩山委員	システムの標準化により人的ミスは避けられるのか。
高林課長	システムの標準化により解消されるとまでは言えないので、今後、業者と協議を重ねミスが生じないよう対応していく。
萩山委員	人的ミスをなくす方法はないのか。
高林課長	職員に対し注意喚起を促し、研修を行うことでミスが起きないよう対応していく。
地方創生推進課 上坊寺委員	復旧・まちづくり推進事業費について。検討会議は復旧・復興へどのように関わり、早期復旧やまちづくりにどのような役割を果たすのか。
杉本課長	液状化対策及び災害公営住宅の整備と合せて行うものであるが、その中で

	生じる様々な課題について、復興の視点からまちづくり全体の発展に向けて検討していく。
上坊寺委員	想定している検討会議の委員に被災地区の住民が入っていないが問題はないのか。
杉本課長	今後、地域の方の意見を伺う必要があると考える。
萬谷委員長	検討会議の会議録及び会議資料を議会へ提出することを求める。
杉本課長	提出する。
積良委員	検討会議の検討内容が変わっていく可能性はあるのか。
杉本課長	液状化対策や災害公営住宅の進捗状況により検討内容が変更する可能性は十分にある。
積良委員	スピード感を持った対応が必要ではないか。
大木政策統括監	液状化対策や災害公営住宅の整備と連携し、情報を共有しながら進めていく。地域住民の意見も取り入れ、市全体の発展を考えて検討していく。
萩山委員	ふるさとづくり基金積立金について。ふるさと納税の制度がどのように見直されるのか。
出戸企画政策部長	ポイント還元の自治体への負担が是正されることにより、本来のふるさと納税の趣旨に沿ったものになる。
地域振興課	
上坊寺委員	災害復旧地域支援事業費（能登半島地震災害関連）について。配布物を郵送した後のフォローは考えているか。
九澤課長	地域ごとにSNSや電話等によりコミュニケーションをとっていく。
上坊寺委員	市でコミュニケーションをとることはできないか。
九澤課長	地域からの要望があれば対応していく。
穴倉委員	地域を離れた人が集まる機会を設けてはどうか。
九澤課長	今後、検討していきたい。

萩山委員	他にも地域への支援が必要ではないか。
九澤課長	今後、地域の意見を伺いながら必要な支援を行っていく。
萩山委員	地域コミュニティを存続するための支援は考えていないのか。
出戸企画政策部長	この事業では、これまでコミュニティセンターの復旧、地域の中の社会資本の整備、瓦礫の撤去について支援しており、今後も必要な支援を行っていく。
萩山委員	地域コミュニティの存続を含め、先を見据えた支援が必要ではないか。
出戸企画政策部長	地域が存続するための施策を考えていく。
総務課	
北委員	中長期派遣職員受入費（能登半島地震災害関連）について。応援職員の職務とメンタルヘルスケアの対応はしているか。
萩原課長	市の職員と同様の対応をしている。
北委員	本市の職員とのコミュニケーションはとれているか。
萩原課長	十分とれている。
北委員	応援職員の宿泊環境は整備されているか。
萩原課長	総務課で寝具や家電等を用意している。
穴倉委員	応援職員の相談等を聞く機会を設けているか。
萩原課長	所属ごとにコミュニケーションをとり相談等も聞いている。
萩山委員	応援職員と本市の職員との上下関係や命令系統の配慮はしているか。
萩原課長	職員の役職や年齢を考慮している。
税務課	
北委員	定額減税調整給付事業費について。本事業の事務処理に係る負担はどの程度か。
中川課長	職員が時間外勤務により対応している。
北委員	対象者に誤りがないための確認方法はどのようにするのか。

中川課長	リスト等により念入りに確認していく。
北委員	確認書の提出がない場合の対応方法は。
中川課長	今後、検討していく。
穴倉委員	職員の時間外勤務は何時間あったか。
中川課長	住民税担当の職員が他の業務も合せて月に45時間から50時間の時間外勤務を行った。
萩山委員	減税額が4万円と異なる人がいるのか。
中川課長	税額が4万円に満たない人については差額を調整給付金として支給する。差額が1万円未満の場合、1万円に切り上げて支給することになる。
萩山委員	切り上げて支給することになる人は何人いるのか。
中川課長	10,455人です。
萩山委員	総額が4万円を超える人が1万人以上もいるこの制度に不公平さを感じるが、今後、同様の措置があった場合、制度の見直しについて国に働きかけることはあるか。
林市長	折を見て国に働きかけていきたい。

個人別賛否一覧（賛否が分かれた議案のみ）

案件名 委員名		自民同志会				無会派	
		北 宣 市	上 坊 寺 勇 人	萬 谷 大 作	萩 山 峰 人	積 良 岳	穴 倉 陽 子
議案第 36 号	令和 6 年度氷見市一般会計補正予算 (第 2 号)	○	○	—	○	○	×

※「○」は賛成 「×」は反対 「退」は退席 「欠」は欠席

※委員長は表決に加わらないため「—」と表示してあります。

令和6年6月企画総務委員会付託案件表

令和6年6月26日（水）午前10時

氷見市庁舎議事堂委員会室

- ◎ 秘書広報課 10:00～
- ・ 議案第36号 令和6年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中
秘書広報課所管に関する事項……………説明書P. 6
- ◎ 地方創生推進課 10:17～
- ・ 議案第36号 令和6年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中
地方創生推進課所管に関する事項……………説明書P. 6
 - ・ 報告第2号 地方自治法第179条による専決処分について……………議案書P. 16
- ◎ 地域振興課 10:35～
- ・ 議案第36号 令和6年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中
地域振興課所管に関する事項……………説明書P. 6
- ◎ 総務課 10:50～
- ・ 議案第36号 令和6年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中
総務課所管に関する事項……………説明書P. 6
 - ・ 報告第2号 地方自治法第179条による専決処分について……………議案書P. 16
- ◎ 税務課 11:04～
- ・ 議案第36号 令和6年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中
税務課所管に関する事項……………説明書P. 6
 - ・ 議案第40号 氷見市税条例の一部改正について……………議案書P. 10
 - ・ 議案第41号 氷見市地方活力向上地域における市税の特別措置
に関する条例の一部改正について……………議案書P. 11
 - ・ 報告第2号 地方自治法第179条による専決処分について……………議案書P. 40
- ◎ 財務課 11:28～
- ・ 議案第36号 令和6年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中
財務課所管に関する事項……………議案書P. 1
 - ・ 議案第49号 令和6年度氷見市一般会計補正予算（第3号）中
財務課所管に関する事項……………議案書（追加分）P. 1
 - ・ 報告第2号 地方自治法第179条による専決処分について……………議案書P. 16

（注）一般会計における給与費は総務課の所管です。なお、財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。